

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社 資生堂	事業所名	久喜工場				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ( 01 ) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	トンキロ法を用い、二酸化炭素排出量を把握し課題抽出を行っている。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ( 01 ) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	製品の包装や出荷形態の見直しを研究			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ( 03 ) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	輸送数とトラック積載可能数とにロスが生じないように調整している。			○	○	○
05	計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ( 01 ) 発注時間及び配送時間のルール化	前日までに配車計画を完了して突発的なオーダーを極力減らし計画的な配車を行う。			○	○	○
05	計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ( 02 ) 道路混雑時の輸配送の見直し	常にネットより出発前に渋滞情報を確認している。各ドライバーにおいても必要に応じ、リアルタイムにネットより渋滞情報を確認している。			○	○	○
05	計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ( 03 ) 輸送車両の待ち時間の削減	日々の入出庫車両の上限を見て配車を行うことで、車両の待機時間が長くないようにしている。			○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進                  (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>警備室受付時に運転手にアイドリングストップの協力を求めている。また、ドライバーズルームを完備している。</p>	○	○	○
<p>08 サードパーティーロジスティクスの活用                  ( )</p>	<p>輸送業務を業者へ委託し、工場の生産管理部門と連携した業務を行っている。また、工場内に業者の従業員を配置し、効率的な輸送業務を行っている。</p>	○	○	○

## 《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	株式会社 資生堂		事業所名	久喜工場		
	取組措置			具体的取組措置		
		R3	R4	R5		
<p>02 公共交通機関への転換の推進                  (01) 公共交通機関利用促進のための情報提供</p>	<p>送迎バス・路線バスの時刻表を掲示している</p>	○	○	○		
<p>02 公共交通機関への転換の推進                  (02) 送迎バス等の運行</p>	<p>久喜から工場までの間、行き帰り利用者数に応じた運行を行っている。</p>	○	○	○		
<p>03 自転車への転換の推進                  (01) 自転車の安全利用の促進</p>	<p>自転車利用に関する規程があり、安全利用を促している。</p>	○	○	○		
<p>03 自転車への転換の推進                  (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理</p>	<p>屋根付きの駐輪場を完備している。</p>	○	○	○		

## 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>04 その他マイカー通勤を削減するための取組          ( 01 ) 自家用自動車の通勤手当及び許可基準等通勤制度の見直し</p>	<p>社内規定において通勤時における自家用車利用は原則禁止としているが、会社が定める条件に該当する場合は、自家用車の許可を認めている。</p>	○	○	○
<p>04 その他マイカー通勤を削減するための取組          ( 04 ) テレワーク制度の導入</p>	<p>テレワーク制度があり継続運用している。</p>	○	○	○
<p>04 その他マイカー通勤を削減するための取組          ( 05 ) 啓発活動の実施</p>	<p>エコ通勤DAYを任意で設定し運用している。</p>	○	○	○
<p>05 エコドライブの推進          ( 01 ) エコドライブの啓発</p>	<p>場内への入退場の際、アイドリングストップを促している。</p>	○	○	○
<p>07 時差通勤の実施          ( )</p>	<p>フレックス制度があり、利用者の通勤時間は選択可能な状況にある。</p>	○	○	○